

M E N U

- ▽ 2 子どもの居場所作り事業
- ▼ 3
- ▽ 4-5 子ども会議
子どもの権利イベント
たまり場教室の様子等
- ▼ 6 団体紹介
- ▽ 7 シリーズ
「子どもたちの今」
- ▼ 8 イベント紹介

特集 「サタデースクール」

IT安全教室を実施して・・・

昨年の佐世保での小6女児事件において、チャットやホームページのことが大きな問題として取り上げられました。事件とインターネットとがどの程度関わっていたかについては定かではありませんが、すでに小学生がインターネットの世界と深く関わっているかを知らしめた事件でした。

そこで7月19日（海の日）に下柚木小学校のパソコン室をお借りして、「IT安全教室」を実施しました。この教室は、インターネットを安全に安心して使えるルールやマナーについて具体的な例を挙げて理解して頂くことを目的としました。さらに、それを親子で体験してい

ただくことが重要だと考えました。子どもたちだけを対象にするのではなく、また、大人だけを対象にするのではなく、親子で理解し、対話していただくきっかけを提供したいと考え親子教室を企画しました。

講師の芦田さんも、周到的な準備をして当日を迎えましたが、真夏の暑いさなか、残念ながら参加申込みは5組と少数でした。親御さんが、お子さんの知識に驚いている場面も見られました。私たちも今回の企画を教訓にしながら、インターネット安全教室、携帯電話安全教室など、「IT安全教室」を、他のパソコン関連団体と協力して実施できればと考えています。企画実現の際にはどうぞご参加下さい。

会員紹介

副会長 浅野さん

私が小さい頃は、子どもたちが集まって年上の子を中心にみんなで遊んでいました。今はそういう機会がなかなかないようです。

昔のような状況を少しでも作れたら、と「たまり場」に期待して活動しています。



子どもの居場所づくり 「地域子ども教室推進事業」

平成16年度より、文部科学省では子どもの居場所づくり「地域子ども教室推進事業」という助成事業を実施しています。文部科学省の委託要綱によると、「未来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、学校等を活用して、安全・安心な子どもたちの居場所（活動拠点）を設け、地域の大人を指導員として配置し、放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援する」ことを目的にしています。

簡単に言ってしまうと、決まった場所で定期的に子どもを対象にした活動を実施しているものであれば助成の対象になります。活動拠点としては、学校でなくとも、公園、公民館、神社、集会所など、どこでもかまいません。開催回数については、月に1回程度のもので助成の対象になります。ただし、文部科学省としては、少しでも実施回数を増やして、放課後や土曜日などの週末にいつも子ども達の居場所がある状態をめざしているようです。気になる助成期間ですが、これは平成16年度から平成18年度の3年間ですので、4年目以降はこの助成なしで活動が続けられるような仕組みをつくっていく必要があります。

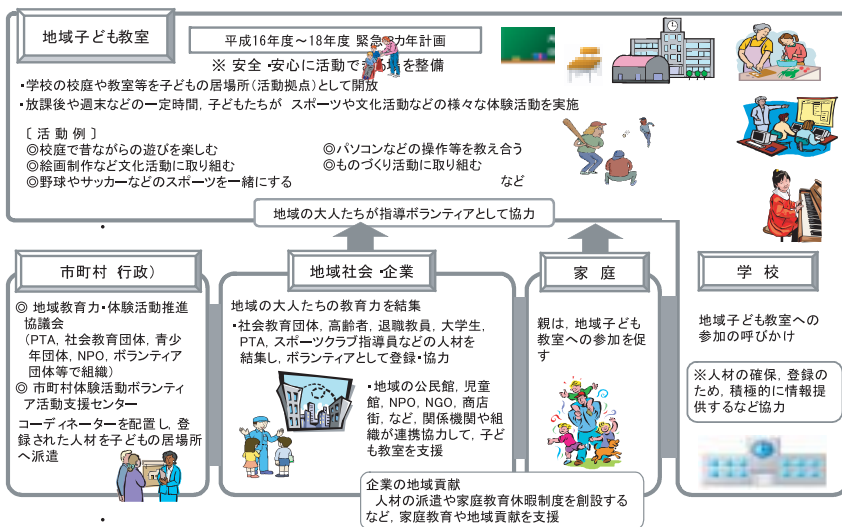
偶然にも！？私たちの団体名（八王子子どもの居場所づくりプロジェクト）はよく似た名前なのですが、私たちのような活動をしている立場からするととてもうれしい助成のひとつです。

「よし、じゃあ明日にでも申請してみるか！」という気持ちになってしまうのですが、ちょっと待ってください。この助成は、文部科学省から全国の都道府県をとおして各市区町村へと委託されているのですが、市区町村によってはこの助成を採用しているところと、そうでないところがあります。残念ながら八王子市は採用していない市区町村のひとつなのです。「でも、八王子市内で実施しているところがあるぞ」という人もいるかもしれませんが、これは都道府県以外に文部科学省から直接的に委託を受けた団体（日本レクリエーション協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、自然体験活動推進協議会など）が活動しているものです。

なんとか八王子市でもこの助成を活用できるようにならないものかと思っていますので、これからもいろいろと八王子市へ働きかけていきたいと思います。状況が変わった時には、皆さんには再度ご連絡させていただきます。



地域子ども教室推進事業



子どもの居場所づくりのホームページ：<http://www.ibasyo.com>



**NPO法人
子どもネット “八王子”**

私ども子どもネット “八王子” は、子どもの心身ともに健やかな成長を願い、地域の親や子ども達への「家庭支援」として、乳幼児期から思春期の子ども達とその家庭を支えていくことを目的として次のような活動をしています。

(1) 「子育て」「家族」「思春期」の中から毎年テーマを決め、講演会の開催。子育て支援講座「よりよい親子関係講座」の開催。電話受け手養成研修の開催。

(2) 子ども専用電話「子どものでんわ★21」の常設。

(3) 子ども達や親達が安心して立ち寄り、語れる場の開催。

(4) 広報誌「はなまる」の発行等です。

子ども達の未来は私達大人の未来です。「今できることを、今できる人がする」という想いで子どもの為に心を寄せている方々と手を携えながら、ともに子ども達の未来への架け橋をつくっていききたいと思います。

NPO法人子どもネット “八王子” の活動

代表 板垣美保子

子どもたちがおかしいといわれはじめてから随分となります。彼らを取り巻く暴力的、破壊的な波動から子どもたちを遠ざけ、その逆もの「思いの大切さ」「心の力」を教えたいと、私達は10年前、劇団空飛ぶひつじを設立しました。以来、演劇活動を通して社会の健全化を図るべく努力してきましたが、事態は未だ改善されず、状況はさらに複雑化し社会不安は増すばかりです。

私達はここ数年、広く市民ミュージカルの参加者を募り、たくさんの人たちと何ヶ月も稽古を共にし、演劇を通して、友だちの作り方や、夢を叶える方法や、大人とうまくやっていく方法をダイレクトに伝えています。ミュージカルの稽古場を、人格を錬磨し社会性を学び『生きる力』を身につける場所として考えています。

演劇の稽古の様々な手法を活用し、身体と心と頭脳を全部使って思いっきりエネルギーに自己表現し、おとなしい子はおとなしいなりに、元気な子はげきなこなりに、完全燃焼の子どもの時代を過ごさせたいと思います。

演出家 真祐みちこ



劇団 空飛ぶひつじ

1986年に設立。2000年にNPO法人となりました。

多摩市および多摩ニュータウンを基盤として、住区を中心とした「地域ブロック」にわかれ、それぞれの子どもにとって身近な地域で、子ども達と一緒に楽しいことを企画したり、遊んだりしています。

地域での、子育て・子育て・自分育てを応援するために、会全体では、「定例鑑賞会」（定期的にプロの劇団の舞台公演を企画・鑑賞します）「子どもカーニバル」（毎年4月29日・子どもの自主企画を応援するおまつり）

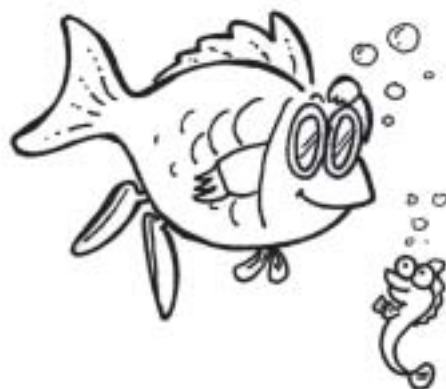
「キャンプや合宿」「多摩センター子育てつどいの広場coucou」「ハロウィンin多摩センター」や大人のための学習会を実施しています。

子どもといっしょにエンジョイライフ！

多摩子ども劇場事務所 多摩市勾田1226-1-102 TEL&ファクス 042-376-7651



**NPO法人
多摩子ども劇場**



“タマリバ” 活動記録写真館

サタデー「たまり場教室」キャラバン in 宮上小

バルーン教室（11月6日）

まずは空気入れてぐーんと長くふくらましそれをキュキュッとねじってあら不思議！？

かわいいプードルになったり、かっこいい剣になったりしたよ。

タグラグビースクール&ネオテニススクール&科学実験教室（12月5日）

校庭ではしっぽのようなタグを取るたびに「やったー！」と歓声があがるタグラグビーが行われ、体育館ではふわふわボールをバトミントンのラケットで打つネオテニスに「がんばれ！」の掛け声。科学実験教室では真剣なまざしで電流計を作っている子ども達、それに負けないうくらいキラキラしていたお父さんの目。

両日ともとっても充実して楽しい一日でした。教えていただいた講師のみなさん本当にありがとうございました。

サタデースクール「手作り電流計」お礼メッセージ

12月4日のサタデースクールに参加させていただきました2年生の父親です。

この授業では方位磁針、ネオジム磁石（ボタン電池ほどの大きさで強力な磁石）、豆電球、モーター、エナメル線などを利用し、本格的な組立及び実験が行われました。東工大博士課程在籍中の先生のわかりやすい指導のもと、アシスタントの先生や、みやかみ会の方々の手厚いご協力もあり、小学校低学年の生徒にとって難しいと思われる内容もスムーズに進行し、あっという間の2時間となりました。おみやげに頂いた実験道具は自宅に持ち帰り、早速実験を繰り返しました。その後は、箱に宝物のように保管し、寝る時も枕もとに置いていました。

今まで参加させていただきました「太鼓」、「空手」、「一輪車」などどれも素晴らしいものでしたが、今回始めての実験系のスクールに親子共々大変満足致しました。本当にどうも有り難うございました。



タグラグビー



子ども科学教室

キッズランド・子ども会議

八王子市子ども家庭部主催

今年はお天気に恵まれず、キッズランドも子ども会議も大雨（台風）のため規模を縮小しての開催となりました。どちらも昨年までは児童館や学童保育所のみで運営されていたイベントでしたが、今年は会場を都立小山内裏公園（指定管理者制度に基づき公園管理されている）に設定し、居場所づくりプロジェクト、小山内裏の会、小山内裏パークセンター、南大沢314PCレスキュー隊など、多くの地域の団体と共催することによって、規模の大きなイベントを企画することが出来ました。今年は天候に大きく影響されてしまいましたが、来年こそは地域の皆さんと一緒に、企画する大人も参加するこどもたちも楽しめるお祭りにしたいですね。

（由木児童館 荒井・倉田）



子どもの権利イベント

八王子市子ども家庭部主催



子どもの権利イベントに参加して

私は第一部の由木地区の紹介と、第二部のパネルディスカッションに参加しました。各ブロックによって異なる特徴を生かしながら、多くの人が熱心に子どもに関わる活動をしていることがわかり、住民の方々のパワフルさを実感することができました。パネルディスカッションでは、予想していたよりも積極的に自分の意見を言う子どもたちの姿に驚きました。こうして、子どもたちが遊びについて考えていること、おとなたちが活動に関わりながら抱えている思いを直接聞ける機会をいただけたことはとても貴重でした。

（中央大学総合政策学部三年
森田恵梨子）

下柚木サタデースクール

下柚木サタデーの運営委員会の母体は、下柚木小でパソコンの授業支援を行っていたグループ「ゆずネット」で、メンバーにお父さんの割合が多いのが特徴です。毎月5～7種講座を開催、100～50名ぐらいの小学生がいつも参加してくれます。

運営面では、他のサタデーと相互協力を行いやすくするために開催日を毎月第3土曜日に設定する、子ども達が好きな講座を選んで参加できるような「縁日」形式をとる、などの工夫をしています。

悩みはやはりスタッフ不足ですが、5・6年生対象の「こどもスタッフ」を募集して運営に参加してもらったり、PTAとの連携をすすめています。

宮上地区の青少対とも連携協力体制をとっており、活動の輪の広がりを少しずつ感じられるようになってきたのがうれしい点です。

会長 浅野盛雄



上柚木サタデースクール

上柚木地区サタデースクールは、隣接する3つの小中学校（愛宕小・上柚木小・上柚木中）で開催しています。それぞれの会場は子どもが歩いて10分程度の範囲にあり、開催しているプログラムには、どこにでも参加ができます。参加者数は毎回150名程度です。

活動開始以来、地域でのつながりを感じる機会が増えましたが、今後は、さらに多くのおとなが参加できる場所になるように講座の内容や広報の仕方を工夫したり、「サタデースクール」という名称も検討したりしています。当番や役員などではなく、あくまで住民が主体的にかかわるボランティアな活動へのこだわりは継続し、一步一步コミュニティづくりをしていきたいと思っています。

上柚木サタデースクール

<http://ss.kamiyugi.info/>



陶鎔小学校は、実に歴史のある学校で、名称も「陶鎔サタデーコミュニティ」と称している。その名の通り、このコミュニティは犬目町会、奈良原西部町会、笹の原住宅自治会、陶鎔小PTAの4つの組織の連携にあります。講座の方は、①手織り、②花に親しむ、③琴、④和太鼓、⑤鳥に親しむ、⑥ゲートボール、⑦卓球、⑧ソフトボール、⑨算数と、一年間継続して学ぶ講座数の多いことが特徴です。また、卓球については、近くの八王子北高校に行って、高校の先生から指導を受けるとのことです。やはり、陶鎔小らしく、伝統文化を地域の人からしっかりと受け継いでいる所にあると思われます。お花は草月流の師範の方、琴は生田流の教師の方、和太鼓は元育成会の会長さんが教えられています。とりわけ「手織り」は多摩織り伝統工芸士の資格を持つ吉永壮吉さんの指導により、手織り機を使った織物だけではなく、格子柄や縞柄のマフラーを、一人一人違った自分だけの柄で作るそうです。また、地域の皆さんによるバザーによって収益金約26万円が寄付されました。まさに、地域力によって、人材、財政も支えている陶鎔サタデーコミュニティです。

(文責：炭谷)



陶鎔小サタデースクール

大和田小学校のサタデースクールは、平成15度ではイベント的な色彩が強かったのですが、平成16年度からは、先着順の定員制にして講座的な色合いを強めましたと校長先生の杉浦渉先生は話してくださいました。今年度第1回目のスポーツ教室は学校開放委員長の石山健一さんのグランドゴルフと子供会の三宅克己さんの工作教室「Xジャイロと竹とんぼ作り」でした。初代PTA会長の石川芳正さんと前PTA副会長の倉富久美子さんが「マジック教室」の先生です。第4代校長の田中俊夫先生が「俳句教室」、第7代PTA会長の奥津恵子さんは「大正琴」の先生をされています。このように大和田小学校のサタデースクールの特徴は、実にOBの方々が協力して運営しているところにあります。子どもが在学している期間ばかりでなく卒業しても学校と関わる、地域との交流のある大和田小学校ならではの特徴だと感じました。写真は、八王子・日野カワセミの会の会長の粕屋和夫さんの協力で実施された「大和田橋付近の冬鳥観察」です。学校を飛び出して、地域を学ぶとても素晴らしい企画と思いました。

(文責：炭谷)



大和田小サタデースクール

サタデースクール

4年目を迎えるサタデースクール

完全学校週5日制実施に伴い、小学校地区毎に運営委員会を組織して、地域で自主的に運営することを基本理念として、地域で一体となって子どもたちと関わる試みはスタートしました。第1土曜日の午前中を原則として、様々な講座・教室等が実施されています。2002年より実施され、今年で3年目が終了することになります。

教育委員会の提唱で始まったサタデースクールですが、これは社会教育委員会議において、平成12年6月29日提言「生涯学習社会における学校開放のあり方について」と平成13年4月25日提言「生涯学習社会における学校開放の具現化について」と2年つづけての検討結果に基づいたものでした。従来、校庭や体育館の開放は既に進んでいたと思いますが、校舎内の教室を地域に開放するというのは、前教育長の成田先生の英断でした。

実施地区は70小学校区のうち33地区（平成16年6月現在）と約半数となっています。とりわけサタデーが盛んなのは、子供会という組織がない、市南部の新興のニュータウン地区です。お母さん方ばかりでなく、お父さんたちも土曜日に子どもたちと一緒に工作や陶芸、スポーツに興じています。

しかし、4年目を迎えて課題も徐々にみえてきています。講座の固定化、マンネリ化、参加児童の低学年化、大人の参加の割合の減少、運営委員の固定化など、地域に差があるものの、課題は共通化しているように思います。私たち「子どもの居場所づくりプロジェクト」のメンバーもサタデーに関わる人が多く参加しています。そのために、各サタデースクールに、ラグビー教室、ネオテニス教室、バルーンアート教室、科学実験教室など専門の方々と協力して出前教室を行ってきました。今後とも、サタデーをはじめとして、ひろく子どもに関わる活動を私たちは支援してゆきたいと考えています。

最後に、各サタデーで実施されている項目を、教養、遊び、スポーツの各分野のベスト3を集計しました。参考までにご覧下さい。

著 炭谷 晃男

サタデースクール人気科目ランキング

教養

- 1位 理科・科学実験教室
- 2位 料理教室
- 3位 折り紙飛行機

遊び

- 1位 自由遊び
- 2位 囲碁
- 3位 将棋

スポーツ

- 1位 ドッチボール
- 2位 サッカー
- 3位 卓球



親子交流フェスタ2005

2005年3月27日(日)
1時00分～4時30分

イベント内容

中郷公園(屋外会場)

- ・けん玉…プロの演技とけん玉大会!
- ・縄跳び…縄レンジャーのダブルダッチ
(けん玉と縄跳びを持ってきてね)
- ・音楽とダンス…よさこいソーラン
- ・「遊び広場」…大学生グループ
- ・ひのき風呂 ・左官絵 (はらっぱ)
- ・木工工作 (木馬会)
- ・福祉バザー (ぷらさdeかたくり,
晴れる屋, ポケットクラブ,
オリーブ, 第6いちょう)

多目的ホール(屋内会場)

- ・子ども科学実験教室
- ・おもちゃ病院
(壊れたおもちゃの簡易修理)
- ・英語であそぼうよ!
- ・人形劇 (くまたん)
(14:30開演～15:00終了)

開催日時と場所

3月27日(日) 1時00分～4時30分

屋内会場 南大沢文化会館 多目的ホール

屋外会場 中郷公園



けん玉師 伊藤祐介 氏



バルーンアート

遊び!
ワクワク!
体験!

お知らせ

ピノキオ / おじいさんのランプ

TAMAみんなのミュージカル第3回公演

日時: 2005年4月3日(日) 14時 開演 (開場は30分前)

場所: 八王子市北野市民センターホール

主催・後援:

劇団空飛ぶひつじ

八王子市、八王子市教育委員会

座席券: 1000円 (3歳以上)

お知らせ

第三回 お父さんお帰りなさいパーティー

日時: 平成17年3月12日

場所: 八王子労政会館2階大ホール

受付開始: 午後1時

開会: 午後1時30分

募集: 定員100名(応募多数の場合は先着順となります)

対象者: おおむね50歳以上の男性, 奥様同伴も大歓迎です

参加費: 500円(当日)

申込方法

下記へ氏名、住所、電話、e-mail、年齢、関心のある分野(複数可)
①環境 ②子ども・教育 ③国際・平和 ④高齢者福祉 ⑤障害者福祉
⑥情報 ⑦文化・スポーツ ⑧街作り ⑨保健医療 ⑩その他
を記入の上、ご連絡下さい。
葉書: 〒192-0083 八王子市旭町12-1ファルマ802ビル5階
TEL/FAX: 0426-46-1626
e-mail: kyoug@shiminkatudo-hachioji.jp

会員募集

会員を募集しています。

個人はもちろん、各種団体での参加も大歓迎!

お問い合わせ

担当: 溝口拓 〒192-0063 東京都八王子市元横山町1-20-20

Tel/FAX: 0426-45-8983 / 0426-45-8987

E-mail: mizoguchi_taku@ybb.ne.jp

	入会金	年会金
正会員	2000円	3000円
学生会員	なし	1500円
準会員	2000円	なし
賛助会員	なし	一口10,000円 (一口以上)

会費振込み先: 郵便口座 記号 10120 番号 71378441

イラスト 小林美穂、海道真澄